

平成24年10月5日

薬事・食品衛生審議会  
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成23年11月18日付け厚生労働省発食安1118第1号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくクロラントラニリプロールに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

(別添)

## クロラントラニリプロール

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

### 1. 概要

(1) 品目名：クロラントラニリプロール [ Chlorantraniliprole (ISO) ]

(2) 用途：殺虫剤

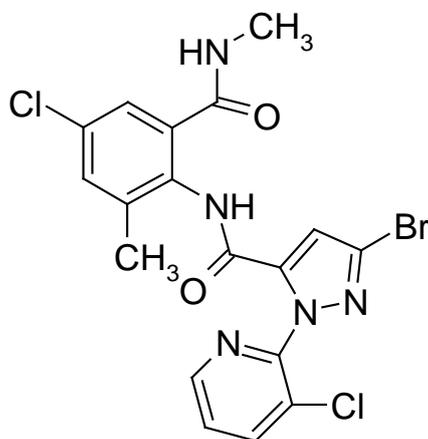
アントラニリックジアミド系殺虫剤である。鱗翅目、双翅目、鞘翅目及び半翅目昆虫の筋小胞体膜のカルシウムチャンネル（リアノジン受容体）に作用してカルシウムイオンを放出させ、筋収縮を起こすことにより殺虫効果を示すものと考えられている。

(3) 化学名

3-bromo-*N*-[4-chloro-2-methyl-6-(methylcarbamoyl)phenyl]-  
1-(3-chloropyridin-2-yl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide (IUPAC)

3-bromo-*N*-[4-chloro-2-methyl-6-[(methylamino)carbonyl]phenyl]-  
1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	C <sub>18</sub> H <sub>14</sub> BrCl <sub>2</sub> N <sub>5</sub> O <sub>2</sub>
分子量	483.15
水溶解度	1.023 mg/L (20°C)
分配係数	log <sub>10</sub> Pow = 2.76 (20°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名、製剤名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 32 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、米、かんきつ類、魚介類等に係る残留基準の設定についてインポートトレランス要請がされている。

(1) 国内での使用方法

①5%クロラントラニリプロール水和剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
キャベツ	コカ アムシ	500倍	苗地床1m <sup>2</sup> 当り 2L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ヨウムシ ハスモンヨウ ハイダラノメイガ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはパー ポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L				
	ウバ類 材バコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
はくさい	コカ アムシ ヨウムシ ハイダラノメイガ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはパー ポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハスモンヨウ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	

①5%クロラントラニリプロール水和剤（続き）

作物名	適用 病害虫名	希積 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロール を含む農薬の 総使用回数
レタス	ナメグリハエ ハスモンヨトウ オオタバコガ カブラヤガ ヨトウムシ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペー パーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ナメグリハエ	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫 3日前まで	3回以内	散布	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ	2000倍					
非結球 レタス	ナメグリハエ ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ		2000倍		収穫前日 まで	2回以内	2回以内
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペー パーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
		2000倍	100～300L/10a	収穫 3日前まで	3回以内	散布	
トマト	トマトハメグリハエ	100倍	1株当り 25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
		1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
	オオタバコガ	2000倍					
ミニトマト	トマトハメグリハエ	100倍	1株当り 25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	オオタバコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
きゅうり	トマトハメグリハエ	100～ 200倍	1株当り 25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
		1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	
	ウリメカイ	2000倍					

① 5%クロラントラニリプロール水和剤 (続き)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
なす	カブテガ ハセンヨトウ	100倍	1株当り 25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
	トマトハダカバエ	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	
	ハセンヨトウ オタバコガ	2000倍					
だいこん	アオシ コガ ハイダラノメガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
かぶ	コガ				2回以内		2回以内
いちご	ハセンヨトウ						
ねぎ	シイモシヨトウ	4000倍	100～300L/10a	収穫 3日前まで	3回以内	散布	3回以内
だいず	ハセンヨトウ			収穫 7日前まで			
えだまめ				収穫 3日前まで			
カリフラワー	コガ アオシ ハセンヨトウ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
こまつな みずな チンゲンサイ	コガ				2回以内		2回以内

②10%クロラントラニリプロール水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
茶	チャノコクモハマキ チャハマキ ヨギエダシヤク	2000倍	200～ 400L/10a	摘採 3日前まで	1回	散布	1回
	チャノホガ	2000～ 4000倍					
りんご	シクムシ類 ハマキムシ類 ギンモンホガ ギンモンホガリガ ケムシ類	2500～ 5000倍	200～ 700L/10a	収穫 前日まで	3回以内	散布	3回以内
	ヨギエダシヤク	5000倍					

②10%クロラントラニリプロール水和剤（続き）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	クロラントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
ぶどう	チャノカクモンハマキ モンキクロノメイガ	5000倍	200～ 700L/10a	収穫 前日まで	3回以内	散布	3回以内
おうとう	ケムシ類 ハマキムシ類 オトウシヨウジヨウバエ	2500倍		収穫 3日前まで			
あんず	アメリカシロヒトリ			収穫 前日まで			
すもも	シクムシ類	2500倍		収穫 前日まで			
なし	シクムシ類	2500～ 5000倍		収穫 3日前まで	2回以内		2回以内
	ケムシ類 ハマキムシ類	5000倍		収穫 前日まで			
もも	シクムシ類 モモハモグリガ	5000倍		収穫 前日まで	3回以内		3回以内
ネクタン				収穫 3日前まで			
かき			ヒロヘリアオイラガ	収穫前日 まで			

③1%クロラントラニリプロール粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	クロラントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	コブノメイガ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に 散布する	1回

(2) 海外での使用方法

①20%クロラントラニリプロール水和剤 (米国)

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間 中の総使 用量	使用時期	使用方法
アーティチョーク	0.045-0.098 lb ai/A	4 回以内	0.2 lbs ai/A	収穫 3 日前まで	散布
アスパラガス	0.045-0.065 lb ai /A			収穫前日まで	散布
あぶらな属野菜	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内 (滴下処理は 2 回以内、ただし 既に植付時土壌 処理を行っている 場合は 1 回以 内)		収穫 3 日前まで	散布
	0.045-0.065 lb ai /A				植付時土壌処理
	0.045-0.098 lb ai /A				滴下処理
とうもろこし	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内		収穫前日まで	散布
綿実	0.045-0.098 lb ai /A			収穫 21 日前まで	散布
うり科野菜	0.026-0.09 lb ai /A	4 回以内 (滴下処理は 2 回以内、ただし 既に植付時土壌 処理を行っている 場合は 1 回以 内)		収穫前日まで	散布
	0.045-0.098 lb ai /A				植付時土壌処理
	0.026-0.098 lb ai /A				滴下処理
果菜類	0.026-0.098 lb ai /A	4 回以内 (滴下処理は 2 回以内、ただし 既に植付時土壌 処理を行っている 場合は 1 回以 内)	収穫前日まで	散布	
	0.045-0.098 lb ai /A			植付時土壌処理	
	0.045-0.098 lb ai /A			滴下処理	
ハーブ類	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内	0.2 lbs ai /A	収穫前日まで	散布
ホップ				収穫当日まで	
豆類				収穫前日まで	
ミント				収穫 3 日前まで	
オクラ				収穫前日まで	
ばれいしょ				収穫 14 日前まで	
オイルト				収穫 21 日前まで	
スパイス類				収穫前日まで	
いちご				収穫 14 日前まで	
さとうきび				収穫 14 日前まで	
根菜類	0.045-0.065 lb ai /A			収穫 14 日前まで	

②35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤（米国）

作物名	1 回当りの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の 総使用量	使用時期	使用方法
バナナ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内	0.2 lbs ai /A	収穫前日まで	散布
ベリー類				収穫 3 日前まで	
つる性果実類				収穫前日まで	
かんきつ類				収穫前日まで	
コーヒー豆				収穫 7 日前まで	
いちじく				収穫前日まで	
ぶどう	0.044-0.099 lb ai /A	4 回以内		収穫 14 日前まで	
オリーブ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内		収穫前日まで	
かき					
仁果類	0.055-0.099 lb ai /A	4 回以内		収穫 5 日前まで	
ざくろ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内		収穫前日まで	
核果類				収穫 10 日前まで	
ナッツ類	0.044-0.099 lb ai /A	4 回以内	収穫 10 日前まで		
トロピカルフルーツ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内	収穫前日まで (但し、アセロラ、ジャ ボチカバ、ライチ、パパ イヤ、パッションフルーツは収 穫 10 日前まで)		

③20%クロラントラニリプロール水和剤（EU）

作物名	1 回当りの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
なす	85 g ai/ha	3 回以内	255 g ai/ha	収穫 2 日 前まで	散布
キャベツ ブロッコリー	55~70 g/ha		210 g ai/ha		
きゅうり	85 g/ha		255 g ai/ha		
ズッキーニ					
レタス					
メロン	70~85 g/ha				
ピーマン					
トマト	85 g/ha				

3. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

クロラントラニリプロール

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出する。または、試料からアセトンで抽出し、酢酸エチルに転溶する。トリメチルアミノプロピルシリル化シリカゲル（SAX）及びスチレンジビニルベンゼン共重合体（PLS-2）カラム又はフロリジルカラム及びエチレンジアミン-N-プロピルシリル化シリカゲル（PSA）カラムで精製し、液

体クロマトグラフ・質量分析計(LC-MS)を用いて定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、凝固法、フロリジルカラム及びPSAカラムで精製した後、LC-MSを用いて定量する。

あるいは、試料に水を加え、アセトニトリルで抽出する。SAXカラム及びジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体(HLB)カラムを連結したカラムで精製し、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計(LC-MS/MS)を用いて定量する。

定量限界 0.01 ppm

## (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

## 4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度<sup>注1)</sup>及び生物濃縮係数(BCF:Bioconcentration Factor)から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

### (1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場面においても使用されることから、水田PECtier2<sup>注2)</sup>及び非水田PECtier1<sup>注3)</sup>について算出したところ、水田PECtier2は0.19ppb、非水田PECtier1は0.0044ppbとなったことから、水田PECtier2の0.19ppbを採用した。

### (2) 生物濃縮係数

本剤はオクタノール水/分配係数( $\log_{10}Pow$ )が2.76であり、魚類濃縮性試験が実施されていないことから、BCFについては実測値が得られていない。このため、 $\log_{10}Pow$ から、相関式( $\log_{10}BCF=0.80 \times \log_{10}Pow-0.52$ )を用いて48.8と算出された。

### (3) 推定残留量

(1)及び(2)の結果から、クロラントラニリプロールの水産動植物被害予測濃度:0.19ppb、BCF:48.8とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.19 \text{ ppb} \times (48.8 \times 5) = 0.004636 \text{ ppm} \approx 0.05 \text{ ppm}$$

注1)農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止にかかる農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2)水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3)既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

(参考) :平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

## 5. 畜産物への推定残留量

### (1) 動物飼養試験(家畜残留試験)

①乳牛における残留試験

乳牛に対して、クロラントラニリプロールが飼料中濃度として1、3、10及び50 ppmに相当する量を含むゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、最終投与1日後の筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロラントラニリプロール含量を測定した。

(検出限界：筋肉：0.003 ppm、脂肪：0.004 ppm、肝臓：0.005 ppm、腎臓：0.003 ppm) また、乳については、牛乳を最終投与の1、3、5、7、10、14、21および28日後に搾乳し、14及び21日後に採取した牛乳よりスキムミルク及びクリーム試料を調製し、クロラントラニリプロールを測定した。(定量限界：0.010 ppm) 結果については表1を参照。

表1. 組織中のクロラントラニリプロールの最大残留 (ppm)

	1ppm 投与群	3ppm 投与群	10ppm 投与群	50ppm 投与群
筋肉	<0.003(最大) <0.003(平均)	0.004(最大) 0.003(平均)	0.009(最大) 0.007(平均)	0.029(最大) 0.019(平均)
脂肪	0.004(最大) 0.003(平均)	0.015(最大) 0.009(平均)	0.036(最大) 0.029(平均)	0.16(最大) 0.14(平均)
肝臓	0.005(最大) 0.004(平均)	0.014(最大) 0.010(平均)	0.035(最大) 0.029(平均)	0.13(最大) 0.13(平均)
腎臓	<0.003(最大) <0.003(平均)	0.009(最大) 0.006(平均)	0.035(最大) 0.022(平均)	0.081(最大) 0.068(平均)
牛乳	<0.003(平均)	<0.003(平均)	0.005(平均)	0.021(平均)
スキムミルク	<0.003(平均)	<0.003(平均)	0.003(平均)	0.016(平均)
クリーム	0.004(平均)	0.011(平均)	0.026(平均)	0.11(平均)

②産卵鶏における代謝試験結果

産卵鶏に対して[ben-<sup>14</sup>C]標識クロラントラニリプロール及び[pry-<sup>14</sup>C]標識クロラントラニリプロールを1:1で混合したものを10mg/kg 飼料/day 相当で14日間連続カプセル経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロラントラニリプロール及び代謝物含量を測定した。また、鶏卵については、投与期間中に1日毎に採卵してクロラントラニリプロール及び代謝物について測定した(定量限界：<0.001 ppm)。結果については表2を参照。

表2. 組織中の代謝物 (μg/g)

成分	卵白	卵黄	肝臓	筋肉	腹腔内 脂肪	皮膚・脂肪
クロラントラニリプロール	0.409	0.106	0.017	<0.001	0.007	0.009
代謝物 A	0.033	ND	ND	ND	ND	ND
代謝物 B	ND	ND	0.021	ND	0.001	ND
代謝物 C	0.045	0.078	0.003	ND	ND	ND
代謝物 D	0.037	ND	0.009	<0.001	ND	ND
代謝物 E	0.046	0.112	0.011	<0.001	0.001	0.002
代謝物 F	0.027	ND	ND	<0.001	ND	0.003
代謝物 H	ND	ND	0.016	<0.001	<0.001	0.001
代謝物 M	0.119	ND	ND	ND	0.001	0.005
代謝物 N	0.421	0.020	ND	ND	0.002	0.001
代謝物 O	0.042	ND	ND	0.002	0.001	0.002

代謝物A:3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazole-5-carboxylic acid  
 代謝物B:2-[[[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazol-5-yl]carbonyl]amino]-5-chloro-3-methylbenzoic acid  
 代謝物C:3-Bromo-*N*-[4-chloro-2-[[ (hydroxymethyl) amino]carbonyl]-6-methylphenyl]-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide  
 代謝物D:3-Bromo-*N*-[4-chloro-2-(hydroxymethyl)-6-[(methylamino) carbonyl]phenyl]-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide  
 代謝物E:2-[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazol-5-yl]-6-chloro-8-(hydroxymethyl)-4(3*H*)-quinazolinone  
 代謝物F:2-[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazol-5-yl]-6-chloro-8-(hydroxymethyl)-3-methyl-4(3*H*)-quinazolinone  
 代謝物H:*N*-[2-Aminocarbonyl]-4-chloro-6-(hydroxymethyl)phenyl]-3-bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide  
 代謝物M:*N*-[2-(Aminocarbonyl)-4-chloro-6-methylphenyl]-3-bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1-pyrazole-5-carboxamide  
 代謝物N:2-[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazol-5-yl]-6-chloro-8-methyl-4(3*H*)-quinazolinone  
 代謝物O:2-[3-Bromo-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-1*H*-pyrazol-5-yl]-6-chloro-3,8-dimethyl-4(3*H*)-quinazolinone

上記の結果に関連して、JMPRでは肉牛、乳牛及び家きんにおけるMaximum Dietary Burdensはそれぞれ36.1ppm、28.6ppm及び1.8ppmと評価している。

また、米国及びカナダでは肉牛、乳牛及び家きんにおけるMTDB<sup>注)</sup>はそれぞれ8.6ppm、14.2ppm、0.012ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden: MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考: Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

## (2) 推定残留量

乳牛、肉牛及び産卵鶏について、Maximum Dietary Burdensと各試験における投与量から、畜産物中の推定残留量(最大値)を算出した。結果については表3-1及び3-2を参照。

表3-1. 畜産物中の推定残留量; 牛 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.02	0.09	0.08	0.06	0.01
肉牛	0.02	0.12	0.10	0.07	
最大値	0.02	0.12	0.10	0.07	0.01

表3-2. 畜産物中の推定残留量; 鶏 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	卵
産卵鶏	<0.01	<0.01	<0.01	-	0.09

## 6. ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロラントラニリプロールに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：26.1 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） マウス

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 発がん性試験

（期間） 18 か月間

安全係数：100

ADI：0.26 mg/kg 体重/day

## 7. 諸外国における状況

2008年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されている。国際基準は穀類、葉菜類、果菜類、仁果類果実、核果類果実等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、びわ等に、カナダにおいてりんご、あんず等に、EUにおいてりんご、ナッツ類等に、オーストラリアにおいてぶどう、レタス等に、ニュージーランドにおいてアボカド、ばれいしょ等に基準値が設定されている。

## 8. 基準値案

### （1）残留の規制対象

クロラントラニリプロールとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてクロラントラニリプロール（親化合物のみ）を設定している。

### （2）基準値案

別紙2のとおりである。

### （3）暴露評価

各食品について基準値案の上限までクロラントラニリプロールが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（TMDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
国民平均	18.0
幼小児（1～6歳）	31.1
妊婦	14.1
高齢者（65歳以上）	19.9

注) TMDI試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

## クロラントラニプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稻 (玄米)	2	1%粒剤	50g/箱 育苗箱処理	1回	119, 137日	圃場A : <0.01 (1回、119日) 圃場B : <0.01 (1回、137日)
だいず (乾燥子実)	2	5%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A : 0.03 圃場B : <0.01
えだまめ (さや)	2	5%フロアブル	4000倍散布 150~200, 200L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.14 圃場B : 0.32
だいこん (根部)	1	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7, 14日 1, 3, 7, 15日	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
だいこん (葉部)	1	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7, 14日 1, 3, 7, 15日	圃場A : 1.29 圃場A : 1.78
かぶ (根部)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.02 (3回、14日) 圃場B : 0.03
かぶ (葉部)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 3.21 圃場B : 3.36
キャベツ (葉球)	2	5%フロアブル	100倍500mL/セルトレイ灌注 及び2000倍散布 200 L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.12 (1+3回、7日) 圃場B : 0.12
キャベツ (葉球)	2	5%フロアブル	100倍500mL/セルトレイ灌注 及び2000倍散布 250~300, 202 L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.04 圃場B : 0.76
はくさい (茎葉)	2	5%フロアブル	100倍500mL/セルトレイ灌注 及び2000倍散布 200 L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.26 圃場B : 0.46
はくさい (茎葉)	2	5%フロアブル	100倍500mL/セルトレイ灌注 及び2000倍散布 300 L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.36 圃場B : 0.10 (1+3回、3日)
こまつな (茎葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 150, 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 3.18 圃場B : 1.29
みずな (茎葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 5.76 圃場B : 1.02
チンゲンサイ (茎葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 180, 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.54 圃場B : 1.80
ブロッコリー (花蕾)	2	5%フロアブル	100倍500mL/セルトレイ灌注 及び2000倍散布 200, 70~150L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.20 圃場B : 0.10
カリフラワー (花蕾)	2	5%フロアブル	2000倍散布 210, 300 L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : <0.01 圃場B : 0.26 (3回、3日)
レタス (茎葉)	2	5%フロアブル	100倍500mL/セルトレイ灌注 及び1000倍散布 200 L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 3.00 (1+3回、7日) 圃場B : 0.60
リーフレタス (茎葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 1.83 圃場B : 6.70
サラダ菜 (茎葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 2.40 (2回、3日) 圃場B : 2.31
ねぎ (茎葉)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.21 圃場B : 0.66
トマト (果実)	2	5%フロアブル	100倍25mL/ポット灌注 及び1000倍散布 200 L/10a	1+3回	1, 7, 14日	圃場A : 0.04 (1+3回、7日) 圃場B : 0.19
ミニトマト (果実)	2	5%フロアブル	100倍25mL/ポット灌注 及び2000倍散布 250 L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.12 (1+3回、3日) 圃場B : 0.07
なす (果実)	2	5%フロアブル	100倍25mL/ポット灌注 及び1000倍散布 200 L/10a	1+2回	1, 7, 14日	圃場A : 0.06 圃場B : 0.26
きゅうり (果実)	2	5%フロアブル	100倍25mL/ポット灌注 及び1000倍散布 200, 300 L/10a	1+3回	1, 7, 14日	圃場A : 0.05 圃場B : 0.07

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニリプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 500, 600L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.10 圃場B : 0.31
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 450, 500L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.18 圃場B : 0.37
なし (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 400, 700L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.16(3回、3日) 圃場B : 0.18(3回、3日)
なし (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.33 圃場B : 0.17
もも (果肉)	2	10%フロアブル	5000倍散布 400, 500L/10a	2回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.02 圃場B : <0.01
もも (果皮)	2	10%フロアブル	5000倍散布 400, 500L/10a	2回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 1.67 圃場B : 0.70
もも (果肉)	2	10%フロアブル	5000倍散布 360, 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : <0.01 (3回、1日) (#) <sup>注2)</sup> 圃場B : <0.01 (3回、1日) (#)
もも (果皮)	2	10%フロアブル	5000倍散布 360, 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 1.42 (3回、1日) (#) 圃場B : 1.34 (3回、1日) (#)
ネクタリン (果実)	2	10%フロアブル	5000倍散布 400L/10a	2回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.11 圃場B : 0.08
すもも (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 500L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.04 (3回、14日) 圃場B : 0.08
おうとう (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 500, 700L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.23 圃場B : 0.38
あんず (果実)	2	10%フロアブル	2500倍散布 400, 625L/10a	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.32 (3回、14日) 圃場B : 0.62
ぶどう (果実)	2	10%フロアブル	5000倍散布 300, 500L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.16 (3回、3日) 圃場B : 0.51 (3回、3日)
かき (果実)	2	10%フロアブル	5000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A : 0.07 圃場B : 0.07 (3回、7日)
いちご (果実)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A : 0.23 圃場B : 0.30
茶 (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 29.8 圃場B : 38.6
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	3, 7, 14, 21日	圃場A : 16.9 圃場B : 19.6

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

## クロラントラニリプロール海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニリプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	49 g ai/ha 散布	3回	0, 7, 14, 21, 28日	圃場A : <0.003 (#)
ばれいしょ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	50~52 g ai/ha 散布	3回	0, 7, 15, 21, 28日	圃場A : <0.003 (#)
ばれいしょ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	74~76 g ai/ha 散布	3回	0, 1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.003 (#)
ばれいしょ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	76 g ai/ha 散布	3回	0, 1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : <0.003 (#)
ばれいしょ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	380 g ai/ha 散布	3回	14日	圃場A : 0.003 (#) <sup>注2)</sup>
ばれいしょ (塊茎)	21	35%顆粒水和剤	73~78 g ai/ha 散布	3回	14日	圃場A : ND (<0.003) (#)
						圃場B : ND (<0.003) (#)
						圃場C : ND (<0.003) (#)
						圃場D : ND (<0.003) (#)
						圃場E : ND (<0.003) (#)
						圃場F : ND (<0.003) (#)
						圃場G : 0.004 (#)
						圃場H : ND (<0.003) (#)
						圃場I : ND (<0.003) (#)
						圃場J : ND (<0.003) (#)
						圃場K : ND (<0.003) (#)
						圃場L : ND (<0.003) (#)
						圃場M : ND (<0.003) (#)
						圃場N : ND (<0.003) (#)
圃場O : ND (<0.003) (#)						
圃場P : ND (<0.003) (#)						
圃場Q : 0.003 (#)						
圃場R : ND (<0.003) (#)						
圃場S : ND (<0.003) (#)						
圃場T : 0.003 (#)						
圃場U : ND (<0.003) (#)						
ばれいしょ (塊茎)	4	35%顆粒水和剤	73~78 g ai/ha 散布	3回	15日	圃場A : 0.003 (#)
						圃場B : ND (<0.003) (#)
						圃場C : 0.004 (#)
						圃場D : ND (<0.003) (#)
キャベツ (外葉あり)	9	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2回	3日	圃場A : 0.64 (#)
						圃場B : 0.28 (#)
						圃場C : 0.033 (#)
						圃場D : 0.51 (#)
						圃場E : 0.48 (#)
						圃場F : 0.066 (#)
						圃場G : 0.29 (#)
						圃場H : 1.1 (#)
						圃場I : 0.75 (#)
圃場J : 2.9						
圃場K : 2.2						
キャベツ (外葉あり)	1	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2回	4日	圃場A : 0.10 (#)
キャベツ (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2回	3日	圃場A : 0.037 (#)
						圃場B : 0.078 (#)
						圃場C : 0.077 (#)
ブロッコリー (花蕾)	1	18.4%フロアブル	113~114 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A : 0.67 (2回、1日) (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ブロッコリー (花蕾)	8	18.4%フロアブル	109~116 g ai/ha 散布	2回	3日	圃場A : 0.32 (#)
						圃場B : 0.30 (#)
						圃場C : 0.40 (#)
						圃場D : 0.38 (#)
						圃場E : 0.32 (#)
						圃場F : 0.41 (#)
						圃場G : 0.35 (#)
						圃場H : 0.12 (#)
からしな (茎葉)	8	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2回	3日	圃場A : 1.7 (#)
						圃場B : 4.6 (#)
						圃場C : 1.2 (#)
						圃場D : 5.6 (#)
						圃場E : 2.9 (#)
						圃場F : 3.7 (#)
						圃場G : 4.8 (#)
						圃場H : 2.2 (#)
レタス (茎葉) (外葉あり)	1	18.4%フロアブル	111~113 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A : 0.56 (#)
レタス (茎葉) (外葉あり)	6	18.4%フロアブル	109~115 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 2.4 (#)
						圃場B : 1.3 (#)
						圃場C : 0.43 (#)
						圃場D : 2.2 (#)
						圃場E : 0.012 (#)
						圃場F : 0.004 (#)
レタス (茎葉) (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.47 (#)
						圃場B : 0.043 (#)
						圃場C : 0.39 (#)
リーフレタス (茎葉)	7	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 6.2 (#)
						圃場B : 3.2 (#)
						圃場C : 3.9 (#)
						圃場D : 4.5 (#)
						圃場E : 5.3 (#)
						圃場F : 4.0 (#)
						圃場G : 3.9 (#)
セルリー (茎葉) (外葉あり)	7	18.4%フロアブル	112~118 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.99 (#)
						圃場B : 2.6 (#)
						圃場C : 2.1 (#)
						圃場D : 3.6 (#)
						圃場E : 2.1 (#)
						圃場F : 1.4 (#)
						圃場G : 3.6 (#)
セルリー (茎葉) (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	112~114 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 2.5 (#)
						圃場B : 0.25 (#)
						圃場C : 0.19 (#)
ほうれんそう (茎葉)	1	18.4%フロアブル	110~113 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A : 3.7 (#)
ほうれんそう (茎葉)	6	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場B : 6.8 (#)
						圃場C : 8.6 (#)
						圃場D : 7.4 (#)
						圃場E : 5.6 (#)
						圃場F : 8.9 (#)
圃場G : 7.3 (#)						
トマト (果実)	1	18.4%フロアブル	113 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A : 0.14 (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニプロール】						
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数							
トマト (果実)	19	18.4%フロアブル	106~120 g ai/ha g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.071(#)						
						圃場B : 0.040(#)						
						圃場C : 0.018(#)						
						圃場D : 0.032(#)						
						圃場E : 0.040(#)						
						圃場F : 0.032(#)						
						圃場G : 0.18(#)						
						圃場H : 0.14(#)						
						圃場I : 0.092(#)						
						圃場J : 0.14(#)						
						圃場K : 0.14(#)						
						圃場L : 0.044(#)						
						圃場M : 0.059(#)						
						圃場N : 0.051(#)						
						圃場O : 0.061(#)						
ピーマン (果実)	11	18.4%フロアブル	105~119 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.11(#)						
						圃場B : 0.069(#)						
						圃場C : 0.024(#)						
						圃場D : 0.090(#)						
						圃場E : 0.013(#)						
						圃場F : 0.022(#)						
						圃場G : 0.019(#)						
						圃場H : 0.11(#)						
						圃場I : 0.13(#)						
						圃場J : 0.18(#)						
						圃場K : 0.14(#)						
						とうがらし (果実)	8	18.4%フロアブル	109~119 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.21(#)
												圃場B : 0.019(#)
												圃場C : 0.035(#)
												圃場D : 0.066(#)
圃場E : 0.059(#)												
圃場F : 0.41(#)												
圃場G : 0.063(#)												
圃場H : 0.13(#)												
圃場I : 0.069(#)												
きゅうり (果実)	1	18.4%フロアブル	118~119 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 3, 7, 10日	圃場A : 0.022(#)						
きゅうり (果実)	6	18.4%フロアブル	109~124 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.076(#)						
						圃場B : 0.011(#)						
						圃場C : 0.015(#)						
						圃場D : 0.006(#)						
						圃場E : 0.012(#)						
						圃場F : 0.076(#)						
カンタロープ (果実)	6	18.4%フロアブル	110~121 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.090(#)						
						圃場B : 0.027(#)						
						圃場C : 0.065(#)						
						圃場D : 0.10(#)						
						圃場E : 0.081(#)						
						圃場F : 0.052(#)						
マスクメロン (果実)	1	18.4%フロアブル	113~114 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.010(#)						

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニリプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ペポカボチャ (果実)	6	18.4%フロアブル	108~121 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.017(#)
						圃場B : 0.081(#)
						圃場C : 0.023(#)
						圃場D : 0.054(#)
						圃場E : 0.076(#)
						圃場F : 0.040(#)
りんご (果実)	1	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	0, 7, 14, 21, 28日	圃場A : 0.13(#)
りんご (果実)	13	35%顆粒水和剤	111~118 g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A : 0.022(#)
						圃場B : 0.056(#)
						圃場C : 0.11(#)
						圃場D : 0.074(#)
						圃場E : 0.038(#)
						圃場F : 0.010(#)
						圃場G : 0.012(#)
						圃場H : 0.088(#)
						圃場I : 0.045(#)
						圃場J : 0.093(#)
						圃場K : 0.061(#)
						圃場L : 0.23(#)
						圃場M : 0.078(#)
りんご (果実)	3	35%顆粒水和剤	109~113 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A : 0.073(#)
なし (果実)	1	35%顆粒水和剤	113~115 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A : 0.054(#)
						圃場B : 0.072(#)
なし (果実)	3	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	13日	圃場A : 0.033(#)
						圃場B : 0.059(#)
						圃場C : 0.085(#)
なし (果実)	7	35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A : 0.026(#)
						圃場B : 0.070(#)
						圃場C : 0.10(#)
						圃場D : 0.016(#)
						圃場E : 0.12(#)
						圃場F : 0.13(#)
						圃場G : 0.070(#)
もも (果実)	1	35%顆粒水和剤	116.13~115.71 g ai/ha 散布	2回	1, 3, 8, 10, 14日	圃場A : 0.158(#)
もも (果実)	1	35%顆粒水和剤	111.69~112.42 g ai/ha 散布	2回	1, 3, 8, 11, 15日	圃場A : 0.318(#)
もも (果実)	2	35%顆粒水和剤	110.69~112.34 g ai/ha 散布	2回	9日	圃場A : 0.0720(#)
						圃場B : 0.125(#)
もも (果実)	9	35%顆粒水和剤	111.37~113.65 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A : 0.247(#)
						圃場B : 0.144(#)
						圃場C : 0.132(#)
						圃場D : 0.165(#)
						圃場E : 0.0639(#)
						圃場F : 0.0916(#)
						圃場G : 0.101(#)
						圃場H : 0.0827(#)
						圃場I : 0.122(#)
もも (果実)	3	35%顆粒水和剤	112.42~115.47 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2回	10日	圃場A : 0.106(#)
						圃場B : 0.891(#)
						圃場C : 0.142(#)
もも (果実)	3	35%顆粒水和剤	110.35~115.85 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2回	10日	圃場A : 0.114(#)
						圃場B : 0.132(#)
						圃場C : 0.101(#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニリプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
もも (果実)	4	35%顆粒水和剤	109.77~115.87 g ai/ha 散布	2回	11日	圃場A : 0.0897(#)
						圃場B : 0.105(#)
						圃場C : 0.309(#)
						圃場D : 0.183(#)
すもも (果実)	1	35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha 散布	2回	0, 5, 10, 14, 21日	圃場A : 0.004(2回、10日)(#)
すもも (果実)	10	35%顆粒水和剤	105~112g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A : 0.026(#)
						圃場B : 0.017(#)
						圃場C : 0.067(#)
						圃場D : 0.066(#)
						圃場E : 0.006(#)
						圃場F : 0.015(#)
						圃場G : 0.006(#)
						圃場H : 0.007(#)
						圃場I : 0.007(#)
						圃場J : 0.009(#)
すもも (果実)	3	35%顆粒水和剤	108~111 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2回	10日	圃場A : 0.011(#)
						圃場B : 0.022(#)
						圃場C : 0.049(#)
すもも (果実)	3	35%顆粒水和剤	112~118 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2回	10日	圃場A : 0.011(#)
						圃場B : 0.029(#)
						圃場C : 0.076(#)
おうとう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	9日	圃場A : 0.11(#)
						圃場B : 0.18(#)
おうとう (果実)	6	35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A : 0.26(#)
						圃場B : 0.10(#)
						圃場C : 0.056(#)
						圃場D : 0.36(#)
						圃場E : 0.21(#)
						圃場F : 0.45(#)
おうとう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2回	10日	圃場A : 0.15(#)
						圃場B : 0.48(#)
おうとう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2回	10日	圃場A : 0.19(#)
						圃場B : 0.57(#)
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	115.60~118.95 g ai/ha 散布	2回	1, 2, 7, 13, 23日	圃場A : 0.0403(#)
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	111.85~112.01 g ai/ha 散布	2回	1, 4, 7, 15, 20日	圃場A : 0.429(#)
ぶどう (果実)	2	35%顆粒水和剤	111.08~115.15 g ai/ha 散布	2回	13日	圃場A : 0.522(#)
						圃場B : 0.199(#)
ぶどう (果実)	10	35%顆粒水和剤	108.82~114.80 g ai/ha 散布		14日	圃場A : 0.0826(#)
						圃場B : 0.0415(#)
						圃場C : 0.0933(#)
						圃場D : 0.175(#)
						圃場E : 0.335(#)
						圃場F : 0.257(#)
						圃場G : 0.108(#)
						圃場H : 0.0440(#)
						圃場I : 0.0426(#)
						圃場J : 0.0364(#)
ぶどう (果実)	2	35%顆粒水和剤	111.69~114.06 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2回	14日	圃場A : 0.0442(#)
						圃場B : 0.0445(#)
ぶどう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112.25~114.86 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2回	14日	圃場A : 0.0909(#)
						圃場B : 0.0408(#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニリプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう (果実)	3	35%顆粒水和剤	107.90~114.01 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A : 0.477(#) 圃場B : 0.119(#) 圃場C : 0.189(#)
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	108.12~108.26 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2回	15日	圃場A : 0.371(#)
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	107.90~108.35 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2回	15日	圃場A : 0.461(#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	110~118 g ai/ha 散布	2回	0, 7, 14, 21, 28日	圃場A : 0.078(#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	110~112 g ai/ha 散布	2回	0, 6, 14, 20, 25日	圃場A : 0.34(2回、6日)(#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2回	20日	圃場A : 0.016(#)
綿実 (種子)	7	35%顆粒水和剤	109~114 g ai/ha 散布	2回	21日	圃場A : 0.022(#) 圃場B : 0.029(#) 圃場C : 0.047(#) 圃場D : 0.082(#) 圃場E : 0.049(#) 圃場F : 0.13(#) 圃場G : 0.083(#)
綿実 (種子)	3	35%顆粒水和剤	110~114 g ai/ha 散布	2回	22日	圃場A : 0.031(#) 圃場B : 0.054(#) 圃場C : 0.081(#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha 散布	2回	23日	圃場A : 0.006(#)
綿実 (綿花残渣)	5	35%顆粒水和剤	109~113 g ai/ha 散布	2回	21日	圃場A : 12(#) 圃場B : 6.4(#) 圃場C : 3.3(#) 圃場D : 4.1(#) 圃場E : 2.4(#)
綿実 (綿花残渣)	2	35%顆粒水和剤	110~114 g ai/ha 散布	2回	22日	圃場A : 1.1(#) 圃場B : 13(#)
グリーンビーン (さや)	5	35%顆粒水和剤	59.66~60.52 g ai/ha 散布	2回	0, 1, 7, 14, 21日	圃場A : 0.11 (2回、1日)(#) 圃場B : 0.13(2回、1日)(#) 圃場C : 0.19(#) 圃場D : 0.15(2回、1日)(#) 圃場E : 0.13(2回、1日)(#)
グリーンビーン (さや)	4	35%顆粒水和剤	57.72~61.59 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.11(#) 圃場B : 0.081(#) 圃場C : 0.11(#) 圃場D : 0.30(#)
グリーンビーン (さや)	6	35%顆粒水和剤	38.86~40.91 g ai/ha 散布	2回	1, 3日	圃場A : 0.088(#) 圃場B : 0.25(#) 圃場C : 0.093(#) 圃場D : 0.16(#) 圃場E : 0.19(#) 圃場F : 0.024(#)
グリーンビーン (さや)	4	35%顆粒水和剤	38.12~40.86 g ai/ha 散布	2回	1日	圃場A : 0.055(#) 圃場B : 0.031(#) 圃場C : 0.12(#) 圃場D : 0.083(#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	110~112 g ai/ha 散布	2回	13日	圃場A : ND(<0.003)(#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	559~567g ai/ha 散布	2回	13日	圃場A : ND(<0.003)(#)
とうもろこし (穀粒)	4	18.4%フロアブル	105~112 g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A : ND(<0.003)(#) 圃場B : ND(<0.003)(#) 圃場C : ND(<0.003)(#) 圃場D : ND(<0.003)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
とうもろこし (穀粒)	2	18.4%フロアブル	108~116 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A : 0.005(#) 圃場B : 0.009(#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	554~567 g ai/ha 散布	2回	15日	圃場A : ND(<0.003) (#)
とうもろこし (穀粒)	2	18.4%フロアブル	0.100~0.109 lb ai/A 散布	4回	13日	圃場A : <0.010(#) 圃場B : <0.010(#)
とうもろこし (穀粒)	10	18.4%フロアブル	0.095~0.109 lb ai/A 散布	4回	14日	圃場A : <0.010(#) 圃場B : <0.010(#) 圃場C : <0.010(#) 圃場D : <0.010(#) 圃場E : <0.010(#) 圃場F : <0.010(#) 圃場G : <0.010(#) 圃場H : <0.010(#) 圃場I : <0.010(#) 圃場J : <0.010(#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	0.099~0.103 lb ai/A 散布	4回	15日	圃場A : <0.010(#)
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	0.101 lb ai/A 散布	5回	14日	圃場A : <0.010(#)
とうもろこし (茎葉)	14	18.4%フロアブル	0.098~0.104 lb ai/A 散布	2回	13日	圃場A : 5.4(#) 圃場B : 5.315(#)
					14日	圃場C : 2.615(#) 圃場D : 0.69(#) 圃場E : 12.04(#) 圃場F : 3.635(#) 圃場G : 3.955(#) 圃場H : 0.824(#) 圃場I : 2.085(#) 圃場J : 2.075(#) 圃場K : 7.69(#) 圃場L : 4.52(#) 圃場M : 7.1(#)
					15日	圃場N : 2.36(#)
とうもろこし (茎葉)	7	18.4%フロアブル	0.094~0.104 lb ai/A 散布	2回	13日	圃場A : 1.7(#)
					14日	圃場B : 3.1(#) 圃場C : 3.1(#) 圃場D : 2.8(#) 圃場E : 3.7(#)
					15日	圃場F : 2.2(#) 圃場G : 3.8(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	550 g ai/ha 土壌処理	2回	113日	圃場A : 0.063(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 散布	2回	116日	圃場A : 0.040(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 土壌処理	2回	117日	圃場A : 0.057(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 散布	2回	120日	圃場A : 0.010(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	546 g ai/ha 土壌処理	2回	120日	圃場A : 0.049(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	1077 g ai/ha 土壌処理	2回	120日	圃場A : 0.037(#)
稲 (穀粒)	4	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 散布	2回	122日	圃場A : 0.051(#) 圃場B : 0.050(#) 圃場C : 0.072(#) 圃場D : 0.087(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 土壌処理	2回	123日	圃場A : 0.029(#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニリプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 土壌処理	2回	127日	圃場A : 0.052(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha 土壌処理	2回	130日	圃場A : 0.028(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 土壌処理	2回	134日	圃場A : 0.030(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 土壌処理	2回	138日	圃場A : 0.046(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 散布	2回	143日	圃場A : 0.033(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha 土壌処理	2回	148日	圃場A : 0.031(#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	1121 g ai/ha 土壌処理	2回	148日	圃場A : 0.048(#)
Polebeans (さや)	1	5%フロアブル	20 g ai/ha 散布	6回	0, 1, 3, 7, 14日	圃場A : 3.080(#)
Polebeans (さや)	1	5%フロアブル	40 g ai/ha 散布	6回	0, 1, 3, 7, 14日	圃場A : 11.036(#)
ブラックベリー (果実)	2	35%顆粒水和剤	0.097~0.100 lb ai/Acre 散布	2回	3日	圃場A : 0.049(#) 圃場B : 0.436(#)
ラズベリー (果実)	1	35%顆粒水和剤	0.099~0.103 lb ai/Acre 散布	2回	1, 3, 7, 10日	圃場A : 0.0902(#)
ラズベリー (果実)	5	35%顆粒水和剤	0.100~0.105 lb ai/Acre 散布	2回	3日	圃場A : 0.235(#) 圃場B : 0.481(#) 圃場C : 0.482(#) 圃場D : 0.513(#) 圃場E : 0.095(#)
ミント (茎葉)	5	35%顆粒水和剤	0.097~0.103 lb ai/A 散布	2回	3日	圃場A : 4.61(#) 圃場B : 4.64(#) 圃場C : 5.68(#) 圃場D : 5.33(#) 圃場E : 2.22(#)
コーヒー豆 (豆)	2	35%顆粒水和剤	52.5 g ai/ha 散布	3回	7, 21日	圃場A : 0.098(#) 圃場B : 0.115(#)
コーヒー豆 (豆)	2	35%顆粒水和剤	52.5 g ai/ha 散布	3回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.188(#) 圃場B : 0.205(#)
アーモンド (可食部)	5	35%顆粒水和剤	111~114 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A : 0.006(#) 圃場B : 0.007(#) 圃場C : 0.004(#) 圃場D : 0.006(#) 圃場E : 0.004(#)
アーモンド (可食部)	1	35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha 散布	2回	11日	圃場A : 0.008(#)
ペカン (可食部)	1	35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha 散布	2回	9日	圃場A : 0.015(#)
ペカン (可食部)	5	35%顆粒水和剤	112~114 g ai/ha 散布	2回	10日	圃場A : 0.003(#) 圃場B : 0.003(#) 圃場C : 0.007(#) 圃場D : 0.014(#) 圃場E : 0.009(#)
アルファルファ (茎葉)	1	18.4%フロアブル	110 g ai/ha g ai/ha 散布	2回	0, 7, 14日	圃場A : 7.9(2回、14日)(#)
アルファルファ (茎葉)	2	18.4%フロアブル	111~118 g ai/ha 散布	2回	0日	圃場A : 7.6(#) 圃場B : 6.2(#)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 <sup>注1)</sup> (ppm) 【クロラントラニプロール】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
アルファルファ (茎葉)	12	18.4%フロアブル	<i>108~116 g ai/ha</i> 散布	3回	0日	圃場A : 5.9 (#)
						圃場B : 7.6 (#)
						圃場C : 5.2 (#)
						圃場D : 11 (#)
						圃場E : 6.3 (#)
						圃場F : 7.5 (#)
						圃場G : 3.7 (#)
						圃場H : 3.0 (#)
						圃場I : 2.0 (#)
						圃場J : 6.8 (#)
						圃場K : 7.8 (#)
						圃場L : 5.7 (#)
アルファルファ (種子)	10	18.4%フロアブル	<i>108~116 g ai/ha</i> 散布	3回	0日	圃場A : 1.7 (#)
						圃場B : 0.46 (#)
						圃場C : 0.26 (#)
						圃場D : 0.45 (#)
						圃場E : 0.11 (#)
						圃場F : 0.73 (#)
						圃場G : 0.32 (#)
						圃場H : 0.87 (#)
						圃場I : 0.49 (#)
						圃場J : 1.5 (#)

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05	0.05	○・IT			<0.01,<0.01
小麦	0.02			0.02		
大麦	0.02			0.02		
ライ麦	0.02			0.02		
とうもろこし	0.6		IT	0.6		
そば	0.02			0.02		
その他の穀類	0.02			0.02		
大豆	0.2	0.2	○			【0.024(#)-0.30(#)(n=18)(米国グリーンビーン)】
小豆類	2		IT		2.0	アメリカ
えんどう	2		IT		2.0	アメリカ
そら豆	2		IT		2.0	アメリカ
らっかせい	2		IT		2.0	アメリカ
その他の豆類	2		IT		2.0	アメリカ
ばれいしょ	0.02	0.01		0.02		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.02			0.02		
かんしょ	0.02			0.02		
やまいも(長いもをいう。)	0.02			0.02		
こんにゃくいも	0.02			0.02		
その他のいも類	0.02			0.02		
てんさい	0.02			0.02		
さとうきび	14		IT		14	アメリカ
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.05		申	0.02		<0.01,<0.01
だいこん類(ラディッシュを含む。)	20		申	20		1.78,1.29
かぶ類の根	0.2		申	0.02		0.02,0.03(\$)
かぶ類の葉	20		申	20		3.21,3.36
西洋わさび	0.02			0.02		
クレソン	20	13		20		
はくさい	20	4.0	○	20		
キャベツ	4	4.0	○		4.0	アメリカ
芽キャベツ	4	4.0			4.0	アメリカ
ケール	20	11		20		
こまつな	20	11	○	20		
きょうな	20	11	○	20		
チンゲンサイ	11	11	○		11	アメリカ
カリフラワー	4	4.0	○		4.0	アメリカ
ブロッコリー	4	4.0	○		4.0	アメリカ
その他のあぶらな科野菜	20	11		20		
ごぼう	0.02			0.02		
サルシフィー	0.02			0.02		
アーティチョーク	4		IT		4.0	アメリカ
チコリ	20			20		
エンダイブ	20	13		20		
しゅんぎく	20	13		20		
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	20	13	○	20		【0.012(#)-2.4(#)(n=10)(外葉あり)(米国レタス)】【0.043(#)-0.47(#)(n=3)(外葉なし)(米国レタス)】【3.2(#)-6.2(#)(n=7)(米国リーフレタス)】
その他のきく科野菜	20	13		20		
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○			0.21,0.66(\$)
アスパラガス	13		IT		13	アメリカ
にんじん	0.02			0.02		
パースニップ	0.02			0.02		
パセリ	13	13			13	アメリカ
セロリ	13	13		7	13	アメリカ
その他のせり科野菜	13	13		0.02	13	アメリカ

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際基準 ppm	外国基準値 ppm		
トマト	0.7	0.7	○	0.6	0.7	アメリカ	【0.018(#)-0.18(#)(n=20)(米国)】 【0.013(#)-0.18(#)(n=11)(米国)】 0.06,0.26(\$)
ピーマン	1	0.7	IT	0.6	1	EU	
なす	0.7	0.7	○	0.6			
その他のなす科野菜	20	0.7		20			
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.3	0.3	○	0.3			0.05,0.07
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3	0.25		0.3			
しろうり	0.3	0.25		0.3			
すいか※1		0.25		0.3			
すいか	0.1						
メロン類果実※1		0.25		0.3			
メロン類果実	0.1						
まくわうり	0.1	0.25		0.3			
その他のうり科野菜	20	0.25		20			
ほうれんそう	20	13		20			0.14, 0.32(\$)
オクラ	0.6		IT	0.6			
えだまめ	1	1	○				
マッシュルーム	0.6			0.6			
しいたけ	0.6			0.6			
その他のきのこ類	0.6			0.6			
その他の野菜	20	13		20			
みかん			IT				【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】
なつみかんの果実全体	1		IT		1.4	アメリカ	
レモン	1		IT		1.4	アメリカ	
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	1		IT		1.4	アメリカ	
グレープフルーツ	1		IT		1.4	アメリカ	
ライム	1		IT		1.4	アメリカ	
その他のかんきつ類果実	1		IT		1.4	アメリカ	
りんご	1	1	○・IT	0.4	1.2	アメリカ	0.37,0.18 【0.010(#)-0.23(#)(n=17)(米国)】 0.33,0.17 【米国西洋なし参照】 【0.016(#)-0.13(#)(n=11)(米国)】 【米国りんご及び西洋なし参照】
日本なし	1	0.5	○・申・IT	0.4	1.2	アメリカ	
西洋なし	1	0.5	○・申・IT	0.4	1.2	アメリカ	
マルメロ	1	0.3	IT	0.4	1.2	アメリカ	
びわ	0.3	0.3	IT				
もも※2		1.0	○・IT	1	4.0	アメリカ	【0.0639(#)-0.891(#)(n=23)(米国)】 【米国もも、すもも、おうとう参照】 【米国もも、すもも、おうとう参照】 【0.004(#)-0.076(#)(n=17)(米国)】 0.38,0.23 【0.056(#)-0.57(#)(n=12)(米国)】
もも	0.4						
ネクタリン	4	1.0	○・IT	1	4.0	アメリカ	
あんず(アプリコットを含む。)	4	1.0	申・IT	1	4.0	アメリカ	
すもも(プルーンを含む。)	4	1.0	○・IT	1	4.0	アメリカ	
うめ	1			1			
おうとう(チェリーを含む。)	1	1	○	1			
いちご	1	0.7	○・IT		1	アメリカ	0.23,0.30 【0.049(#)-0.436(#)(n=2)(米国ブラックベリー)】 【0.0902(#)-0.513(#)(n=6)(米国ラスベリー)】
その他のベリー類果実	3		IT		2.5	アメリカ	
ぶどう	2	1.2	○	1			0.16,0.51(\$) 【0.0408(#)-0.522(#)(n=23)(米国)】 【米国核果類、仁果類参照】
かき	4		申・IT		4.0	アメリカ	
バナナ	4		IT		4.0	アメリカ	【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】 【米国核果類、仁果類参照】
パパイヤ	2		IT		2.0	アメリカ	
アボカド	4		IT		4.0	アメリカ	
パイナップル	2		IT		1.5	アメリカ	
グアバ	4		IT		4.0	アメリカ	
マンゴー	4		IT		4.0	アメリカ	
パッションフルーツ	2		IT		2.0	アメリカ	
その他の果実	4		IT	0.6	4.0	アメリカ	
ごまの種子	0.3		IT		0.3	アメリカ	【米国綿実参照】 【0.006-0.34(n=14)(米国)】 【米国綿実参照】 【米国綿実参照】
綿実	0.3	0.3		0.3	0.30	アメリカ	
なたね	0.3		IT		0.3	アメリカ	
その他のオイルシード	0.3		IT		0.3	アメリカ	

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
くり	0.04		IT		0.04 <sup>1</sup>	【米国アーモンド及びペカン参照】
ペカン	0.04		IT		0.04 <sup>1</sup>	【0.003(#)-0.015(#)(n=6)(米国)】
アーモンド	0.04		IT		0.04 <sup>1</sup>	【0.004(#)-0.008(#)(n=6)(米国)】
くるみ	0.04		IT		0.04 <sup>1</sup>	【米国アーモンド及びペカン参照】
その他のナッツ類	0.04		IT		0.04 <sup>1</sup>	【米国アーモンド及びペカン参照】
茶	50	50	○			29.8,38.6(荒茶)
コーヒー豆	0.4		IT		0.4 <sup>1</sup>	【0.098(#)-0.205(#)(n=4)(米国)】
カカオ豆	※0.08		IT		0.08 <sup>1</sup>	【米国アーモンド及びペカン参照】
ホップ	90		IT		90 <sup>1</sup>	【0.11(#)-7.9(#)(n=25)(米国アルファルファ参照)】
その他のスパイス	14		IT		14 <sup>1</sup>	【米国アルファルファ参照】
その他のハーブ	25		IT		25 <sup>1</sup>	【米国アルファルファ参照】
牛の筋肉	0.05	0.01	IT		0.05 <sup>1</sup>	推:0.02
豚の筋肉	0.05	0.01	IT		0.05 <sup>1</sup>	(牛の筋肉参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.05	0.01	IT		0.05 <sup>1</sup>	(牛の筋肉参照)
牛の脂肪	0.3	0.01	IT	0.01	0.3 <sup>1</sup>	推:0.12
豚の脂肪	0.3	0.01	IT	0.01	0.3 <sup>1</sup>	(牛の脂肪参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3	0.01	IT	0.01	0.3 <sup>1</sup>	(牛の脂肪参照)
牛の肝臓	0.3	0.01	IT	0.01	0.3 <sup>1</sup>	推:0.10
豚の肝臓	0.3	0.01	IT	0.01	0.3 <sup>1</sup>	(牛の肝臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.01	IT	0.01	0.3 <sup>1</sup>	(牛の肝臓参照)
牛の腎臓	0.2	0.01	IT	0.01	0.2 <sup>1</sup>	推:0.07
豚の腎臓	0.2	0.01	IT	0.01	0.2 <sup>1</sup>	(牛の腎臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.01	IT	0.01	0.2 <sup>1</sup>	(牛の腎臓参照)
牛の食用部分	0.2	0.01	IT	0.01	0.2 <sup>1</sup>	(牛の肝臓参照)
豚の食用部分	0.2	0.01	IT	0.01	0.2 <sup>1</sup>	(牛の肝臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.01	IT	0.01	0.2 <sup>1</sup>	(牛の肝臓参照)
乳	0.05	0.01	IT	0.01	0.05 <sup>1</sup>	推:0.01
鶏の筋肉	0.02		IT		0.02 <sup>1</sup>	推:<0.01
その他の家きんの筋肉	0.02		IT		0.02 <sup>1</sup>	(鶏の筋肉参照)
鶏の脂肪	0.01		IT	0.01	0.01 <sup>1</sup>	推:<0.01
その他の家きんの脂肪	0.01		IT	0.01	0.01 <sup>1</sup>	(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.02		IT	0.01	0.02 <sup>1</sup>	推:<0.01
その他の家きんの肝臓	0.02		IT	0.01	0.02 <sup>1</sup>	(鶏の肝臓参照)
鶏の腎臓	0.02		IT	0.01	0.02 <sup>1</sup>	(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの腎臓	0.02		IT	0.01	0.02 <sup>1</sup>	(鶏の肝臓参照)
鶏の食用部分	0.02		IT	0.01	0.02 <sup>1</sup>	(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの食用部分	0.02		IT	0.01	0.02 <sup>1</sup>	(鶏の肝臓参照)
鶏の卵	0.2		IT	0.01	0.2 <sup>1</sup>	推:0.09
その他の家きんの卵	0.2		IT	0.01	0.2 <sup>1</sup>	(鶏の卵参照)
魚介類	0.05	0.05	IT			推:0.05
とうがらし(乾燥させたもの)	5			5		

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

※1 すいか及びメロン類果実の基準値については、果皮を含む全果実に適用するものとする。

※2 ももの基準値については、果皮を含む全果実(核を除く。)に適用するものとする。

本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

※すいか、メロン類果実、まくわうりにおいては、国際基準の残留基準に加工係数0.3(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※ももにおいては、米国の残留基準に国内残留試験より算出した加工係数0.1を乗じた値を基準値案とした。

※カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。

クロラントラニプロール推定摂取量 (単位:  $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$ )

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	0.05	9.3	4.9	7.0	9.4
小麦	0.02	2.3	1.6	2.5	1.7
大麦	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
ライ麦	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.6	1.5	2.6	1.6	0.5
そば	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
その他の穀類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	0.2	11.2	6.7	9.1	11.8
小豆類	0.2	2.8	1.0	0.2	5.4
えんどう	0.2	0.6	0.2	0.6	0.8
そら豆	0.2	0.4	0.2	0.2	0.8
らっかせい	0.2	1.0	0.6	0.4	1.2
その他の豆類	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
ばれいしょ	0.02	0.7	0.4	0.8	0.5
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.02	0.2	0.1	0.2	0.3
かんしょ	0.02	0.3	0.4	0.3	0.3
やまいも (長いもをいう。)	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
こんにゃくいも	0.02	0.3	0.1	0.2	0.3
その他のいも類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.02	0.1	0.1	0.1	0.1
さとうきび	14	187.6	158.2	144.2	169.4
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	0.05	2.3	0.9	1.4	2.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の葉	20	44.0	10.0	18.0	68.0
かぶ類の根	0.2	0.5	0.1	0.1	0.8
かぶ類の葉	20	10.0	2.0	6.0	22.0
西洋わさび	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	20	2.0	2.0	2.0	2.0
はくさい	20	588.0	206.0	438.0	634.0
キャベツ	4	91.2	39.2	91.6	79.6
芽キャベツ	4	0.4	0.4	0.4	0.4
ケール	20	2.0	2.0	2.0	2.0
こまつな	20	86.0	40.0	32.0	118.0
きょうな	20	6.0	2.0	2.0	6.0
チンゲンサイ	11	15.4	3.3	11.0	20.9
カリフラワー	4	1.6	0.4	0.4	1.6
ブロッコリー	4	18.0	11.2	18.8	16.4
その他のあぶらな科野菜	20	42.0	6.0	4.0	62.0
ごぼう	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
サルシフィー	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	4	0.4	0.4	0.4	0.4
チョコリ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
エンダイブ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
しゅんぎく	20	50.0	12.0	38.0	74.0
レタス (サラダ菜及びちりしやを含む。)	20	122.0	50.0	128.0	84.0
その他のきく科野菜	20	8.0	2.0	10.0	14.0
ねぎ (リーキを含む。)	2	22.6	9.0	16.4	27.0
アスパラガス	13	11.7	3.9	5.2	9.1
にんじん	0.02	0.5	0.3	0.5	0.4
パースニップ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	13	1.3	1.3	1.3	1.3
セロリ	13	5.2	1.3	3.9	5.2
その他のせり科野菜	13	1.3	1.3	1.3	3.9
トマト	0.7	17.0	11.8	17.2	13.2
ピーマン	1	4.4	2.0	1.9	3.7
なす	0.7	2.8	0.6	2.3	4.0
その他のなす科野菜	20	4.0	2.0	2.0	6.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.3	4.9	2.5	3.0	5.0
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.3	2.8	1.7	2.1	3.5
しろり	0.3	0.1	0.0	0.0	0.2
ずいか	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
まくわうり	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	20	10.0	2.0	46.0	14.0
ほうれんそう	20	374.0	202.0	348.0	434.0
オクラ	0.6	0.2	0.1	0.1	0.2
えだまめ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
マッシュルーム	0.6	0.2	0.1	0.4	0.1

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
しいたけ	0.6	2.8	1.1	2.3	2.9
その他のきのこ類	0.6	5.9	2.4	4.6	5.9
その他の野菜	20	252.0	194.0	192.0	244.0
なつみかんの果実全体	1	0.1	0.1	0.1	0.1
レモン	1	0.3	0.2	0.3	0.3
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	1	0.4	0.6	0.8	0.2
グレープフルーツ	1	1.2	0.4	2.1	0.8
ライム	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	1	0.4	0.1	0.1	0.6
りんご	1	35.3	36.2	30.0	35.6
日本なし	1	5.1	4.4	5.3	5.1
西洋なし	1	0.10	0.10	0.10	0.10
マルメロ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	0.4	0.2	0.3	1.6	0.0
ネクタリン	4	0.4	0.4	0.4	0.4
あんず (アブリコットを含む。)	4	0.4	0.4	0.4	0.4
すもも (ブルーンを含む。)	4	0.8	0.4	5.6	0.8
うめ	1	1.1	0.3	1.4	1.6
おうとう (チェリーを含む。)	1	0.1	0.1	0.1	0.1
いちご	1	0.3	0.4	0.1	0.1
その他のベリー類果実	3	0.3	0.3	0.3	0.3
ぶどう	2	11.6	8.8	3.2	7.6
かき	4	125.6	32.0	86.0	198.4
バナナ	4	50.4	45.2	34.8	70.8
パパイヤ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
アボカド	4	0.8	0.4	0.4	0.8
パイナップル	2	1.6	2.0	0.2	1.0
グアバ	4	0.4	0.4	0.4	0.4
マンゴー	4	0.4	0.4	0.4	0.4
パッションフルーツ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他の果実	4	15.6	23.6	5.6	6.8
ごまの種子	0.3	0.3	0.2	0.1	0.4
綿実	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.3	2.5	1.5	2.5	1.6
その他のオイルシード	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.04	0.0	0.1	0.0	0.0
ペカン	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	50	150.0	70.0	175.0	215.0
コーヒー豆	0.4	1.0	0.0	0.6	0.6
カカオ豆	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	90	9.0	9.0	9.0	9.0
その他のスパイス	14	1.4	1.4	1.4	1.4
その他のハーブ	25	2.5	2.5	2.5	2.5
陸棲哺乳類の肉類	0.3	17.3	9.9	18.2	17.3
陸棲哺乳類の乳類	0.05	7.1	9.9	9.2	7.1
家禽の肉類	0.02	0.4	0.4	0.3	0.4
家禽の卵類	0.2	8.0	5.9	8.0	8.0
魚介類	0.05	4.7	2.1	4.7	4.7
計		2494.4	1282.0	2038.3	2801.5
ADI比 (%)		18.0	31.2	14.1	19.9

TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

高齢者については畜水産物の摂取量データがないため、妊婦については家さんの卵類及び水産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

(参考)

これまでの経緯

平成20年	3月10日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（新規：水稲、りんご等）
平成20年	3月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年10月	9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年	7月22日	初回農薬登録（芝）
平成21年	9月28日	残留農薬基準告示
平成22年	7月12日	農林水産省より厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：だいこん、かぶ、なし、あんず、かき）
平成22年	7月14日	インポートトレランス申請（米、かんきつ類、魚介類等）
平成22年	8月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	6月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成23年11月	18日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成23年12月	21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成24年	9月26日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井	里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当主任研究員
○大野	泰雄	国立医薬品食品衛生研究所長
尾崎	博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤	貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐藤	清	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
高橋	美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山	敏廣	東京都健康安全研究センター食品化学部長
廣野	育生	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
松田	りえ子	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
宮井	俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内	明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田	克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成	浩一	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授
鰐淵	英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)